

## CASE STUDY

# 八洲学園大学における資格付与と 企業・団体・教育委員会等との連携・協力

八洲学園大学教授 浅井経子  
八洲学園大学専任講師 篠崎明子

八洲学園大学（以下、本学という）は我が国で初めて本格的にeラーニング・システムを導入した通信制大学で、平成16年に開学した。本学の最大の特徴は、インターネット活用の双方向ライブ配信によるスクーリング授業にある。学生は横浜市のカンパスに登校してスクーリングを受講してもよいし、パソコンを使って自宅等から受講してもよい。双方向ライブ配信によるスクーリング授業では、学生はチャットを使ってリアルタイムで質問したり意見を述べたりでき、ディスカッションも可能である。

構築に貢献することを目的としている。そのために、社会教育主事、司書、学芸員、学校図書館司書教諭（教員免許状取得者対象）といった国家資格取得のためのカリキュラムを提供している。本学では、さまざまな団体・企業等との連携・協力を得てこれらの資格科目の充実を図ったり、資格取得者の就職支援等を行ったりしている。ここではその一端を紹介することにしよう。

論1「生涯学習論2」の2科目4単位を設けている。これらの科目を、実務教育研究所の協力を得て、同研究所の社会通信教育講座「生涯学習指導者養成講座」修了によって科目代替できるようになっている。同講座は財団法人社会通信教育協会が付与する民間資格の生涯学習インストラクター資格取得の際の条件ともなっている。

このような科目代替を取り入れた背景には、本学教員が同講座の企画編集委員・学習指導委員や企画編集執筆協力者として関わっていることがある。

代替された生涯学習論4単位は、上記の資格取得の際に認められるものももちろんのこと、本学独自の認証「生涯学習科目修得認証」取得でも認められ

るし、卒業単位としても認められている。

## 2. 財団法人日本視聴覚教育協会との連携・協力と大学教育の充実のために

学芸員資格科目には「視聴覚教育メディア論」があるが、財団法人日本視聴覚教育協会と連携・協力して、同科目の非常勤講師を同協会より派遣を受け、専門的な学習の充実を図っている。

平成24年より学芸員資格科目が改正されることになっているが、新科目の「博物館情報・メディア論」についても同協会の協力を得る予定となっている。また、本学は開学から6年目を迎え、双方向ライブ配信による教育方法のノウハウも蓄積されてきたが、著作権等に関する問題を含めeラーニングに関する最新情報の提供やアドバイスを同協会から受けたりして、eラーニング・システム活用の教育の一層の向上を目指している。

## 3. 司書資格取得者の就職支援における協力関係

学生への就職支援は本学の課題の一つである。本学においては、一般の大学のような就職ガイダンスや就職説

明会の開催が難しく、また功を奏しにくい。その理由としては、第一に本学の学生が全国各地に散らばっていること、第二には社会人学生が多いこと、第三には学生の年代がさまざまであることが挙げられよう。

この課題への一つの対応として、株式会社図書館流通センターとの協力関係がある。

株式会社図書館流通センターは、本学のeラーニング・システムを使い、司書希望の本学学生等に就職説明会のライブ配信を実施している。これは同センターから本学図書館長である高鷲忠美教授へ要望が寄せられ、実施に至ったものである。

同センターは図書館用書籍等の販売や書誌データの作成・販売、図書館運営業務等を行う企業である。司書の活躍の場となる図書館運営業務の受託は平成8年の福岡市総合図書館に始まり、現在では指定管理者制度の適用を含め200を超え図書館にサービスを提供している。

北海道から鹿児島県まで全国の図書館で事業を展開する同センターは、各地で司書資格を有する人材を求めている。

一方、本学では、司書資格を取得してこれから就職・転職・再就職をしようとする各地の学生への就職支援を行うことが必要であり、両者のニーズが合致した。

平成20年度の就職説明会は8月と9月に実施された。同センターの職員が来校し、希望者は本校の会場で直接、または自宅等からインターネットを通じて説明会に参加した。

この説明会では質疑応答も行われた。会場にいる参加者は直接口頭で、ライブ配信での参加者は配信画面のチャットを利用して質問を行った。ライブ配信の参加者からは「その図書館のある自治体の県民・市民でなければ採用は難しいのか」「〇〇県での求人予定はどうか」といった質問が出され、リアルタイムで口頭により回答された。

来校しての参加者は数名であったが、ライブ配信での参加者は8月が36名（申込者は定員の50名を超えた）、9月が18名であった。また、この説明会の録画は本学のeラーニング・システム上にアップロードされ、参加できなかった学生はそれを視聴することができるようにした（質疑応答は非公開）。

さらに、同センターは、同センター職員が司書資格を取得する際に本学での履修を推薦している。本学では仕事を続けながら資格を取得することができるため、同センターにとつては職員を休ませずに専門性の向上を図ることができるといふメリットがある。

#### 4. 今後の課題

これまで取り上げてきたような国家資格のほかに、本学では日本語コミュニケーションや社会人基礎力等との関係で履修証明や科目修得認証を独自に付与している。これらの独自資格を付与したりしていることもあり、かながわ人材育成支援センターのネットワーク会員として、本学の資源を提供したり、地域や行政、企業などとの関係づくりを図ったりしている。かながわ人材育成支援センターとは、神奈川県が、民間と公共とが連携し、社会全体で職業能力開発を推進するために平成16年6月に設置した機関で、求職者、在職者、企業・団体等の支援を行っている。

また、横浜市内の大学の知的資源などの蓄積を生かし、市民・企業・行政が連携して互いに発展していくことを

目的として、横浜市都市経営局大学調整課が設立した大学・都市パートナーシップ協議会に参画し、生涯学習講座「よこはま大学リレー講座」に参加したりしている。

我が国唯一の生涯学習学部生涯学習学科を有する本学の場合、今後は教育委員会との連携・協力関係を深めることが課題となっている。神奈川県教育委員会「いじめ・暴力行為等防止運動推進会議」主催のファミリー・コミュニケーション運動の委託を受けて、公開講演会を平成19年より実施するなど、教育委員会との連携も行われているが、今後は社会教育主事、司書、学芸等の国家資格科目の履修との関係で全国各地の教育委員会と連携する準備を始めていく。家庭や職場を離れることなく、これらの国家資格科目が履修できる本学の特長を生かし、全国各地の自治体の資格取得希望に応えていくというものである。

#### 【ACCESS】

八洲学園大学

〒220-0021

神奈川県横浜市西区桜木町7-42

<http://www.yashima.ac.jp/univ/>